

追検査

令和六年度 学力検査問題

国語

(九時二十五分～十時十五分)
(五十時間)

受検番号	第	番
------	---	---

注意

- 1 解答用紙について
 - (1) 解答用紙は一枚で、問題用紙にはさんであります。
 - (2) 係の先生の指示に従って、所定の欄二か所に受検番号を書きなさい。
 - (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
 - (4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。
 - (5) 解答用紙の＊印は集計のためのもので、解答には関係ありません。
 - 2 問題用紙について
 - (1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
 - (2) 問題は全部で五問あり、表紙を除いて十四ページです。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

水葉(みずは) (スイちゃん)と茜(あかね) (あーちゃん)は、小学生の頃から一緒にアーティスティックスイミング(音楽や他の泳者に合わせて泳ぎ、同調性や美しさを競う採点競技)を続けてきた。日本選
手権後の練習中、茜は足に怪我(けが)をしてしまう。茜に代わって補欠の紗枝(さえ)とペアを組むこと
になった水葉は、茜が練習するために自宅のプールを貸すことにする。一方、茜は、体育の授業
をきっかけに、同級生の西島(にしじま)さんに泳ぎを教えることになる。

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

(蓮見恭子著『人魚と過ごした夏』による。一部省略がある。)

掲載許諾申請中

(注)

※ トービード……アーティスティックスイミングでの泳ぎ方の一種。

※ ルーティン……ここでは、アーティスティックスイミングの演技のこと。

※ スイミングアカデミー大阪……水葉と茜が所属するアーティスティックスイミングのクラブ。

※ デュエット……二人で行うこと。

問1 ① 暫くプールは見たくない。とありますが、水葉がそう思った理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

ア 「絶対に表彰台」という意気込みで行われた二週間に及ぶ合宿で身体を酷使して、皆によってたかって起こされないと起きられなくらい、身体に疲れがたまってしまったから。

イ 二週間の辛い合宿をやり切ったという達成感で満たされている一方で、合宿に参加できなかった茜に対して申し訳なく感じてしまい、今から一緒に練習する気が起きなかったから。

ウ 「やり切った」という達成感はあるものの、プールを見ると朝五時半に起きて練習したことが大量の食事が用意されていたことなど、辛かった合宿のことを思い出してしまうから。

エ 二週間に及ぶ合宿の中でルーティンにさらに複雑な動きが入れられたので、この新しいルーティンを知らない茜と一緒に練習をすることに、意味を見出すことができなかったから。

問2 ② かなかな違和感を覚えた。とありますが、水葉はどのようなことに対して違和感を覚えたのですか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

ア 怪我で合宿に参加できない茜が練習するために自宅のプールを貸したはずなのに、茜ではない他の子が泳ぎの練習をしていたかのような会話が階下から聞こえてきたこと。

イ 怪我で合宿に参加できない茜が練習するために自宅のプールを貸したはずなのに、茜が練習よりもお母さんたちと笑いながら長閑に会話することの方を楽しんでいること。

ウ 茜が西島さんという自分が知らない子を勝手に連れてきて、自分に説明もなく西島さんと新たにペアを組んで練習をしていたかのような会話がリビングでされていたこと。

エ 茜が西島さんという自分が知らない子を勝手に連れてきて、自分が合宿でいない間にお母さんも含めて一緒に焼きたてのケーキを食べるほど親密な関係になっていること。

問3 ③ 先輩として最低だった。とありますが、水葉はどのようなことを「先輩として最低だった」と

考えていますか。次の空欄にあてはまる内容を、三十字以上、四十字以内で書きなさい。(6点)

30	30	30
40	40	40

こと。

問4 ④ 水葉は込み上げてくる苛立ちを抑えた。とありますが、このとき水葉に込み上げてきた苛立ちについて次のようにまとめました。空欄にあてはまる内容を、**怪我**、**要求**の二つの言葉を使って、三十五字以上、四十五字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。(7点)

補欠だった紗枝が	
45	35

ことへの苛立ち。

問5 本文の内容や表現について述べた文として適切でないものを、次のア～オの中から二つを選び、その記号を書きなさい。(5点)

- ア 本文は二つの場面に分けられ、前半は合宿後の水葉について三人称の語り手によって展開する一方、後半は水葉が一人称の語り手となって合宿中のことを回想している。
- イ 「めつっちゃ天気ええやん。ほんまに台風来るん？」や「台風が来るから、一日はよ終わった。」のように、登場人物の言葉には方言独特の言い回しが含まれているものがある。
- ウ 紗枝が他のメンバーが寝ている時間に自主的に練習していたことを効果的に示すために、前半に「あかんわ。紗枝が起きひん。」と紗枝がひどく疲れている様子が表現されている。
- エ 「呻き声のような返事」や「引きずり込まれるような眠気」のように隠喩を用いて表現することで、合宿から帰ってきたばかりの水葉の疲れている様子がイメージしやすくなっている。
- オ 「おばさん、聞いてや。びっくりするねんで。」や「あら、まあ、まあ。」などのやりとりによって、水葉のお母さんと茜の親密さが表現されている。

2 次の各問いに答えなさい。(24点)

問1 次の——部の漢字には読みがなをつけ、かたかなは漢字に改めなさい。(各2点)

- (1) 平穩な毎日を送る。
- (2) 受賞した小説は秀逸でおもしろい。
- (3) その国は天然の資源に乏しい。
- (4) 計画をコンカンから見直す。
- (5) 公園で強い日をアびる。

問2 次の「部」から」と同じ意味(用法)であるものを、あとのア～エの文の「部」から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

寒いから、あたたかい飲み物を飲んだ。

ア 誕生日に友達からプレゼントをもらった。

イ 今年は暖冬から雪不足となった。

ウ 豆腐は大豆から作る。

エ 道が悪いからスピードを落とそう。

問3 次の会話の空欄 I にあてはまる四字熟語として最も適切なものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

Aさん「合唱祭の実行委員として、学校中を駆け回っているんだよ。」

Bさん「合唱祭のよりよい実施に向けて I しているんだね。」

Aさん「それは、目的のためにあちこち忙しく駆けずり回る、という意味だね。」

ア 右往左往 イ 東奔西走 ウ 四苦八苦 エ 一喜一憂

問4 けやき中学校のAさんたちは、地域の小学六年生に、けやき中学校の魅力を伝えるための発表をすることになりました。次の【板書】と話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。

【板書】

けやき中学校の魅力

- ① 体育祭：クラス全員で一致団結して、競技者を応援した。
- ② 修学旅行：班ごとに協力して計画を立案し、行動した。
- ③ 環境委員会：美しい学校をつくるため、全校で花の植え替えをした。
- ④ 図書委員会：利用者を増やすため、本の紹介ゲームなどをした。
- ⑤ 地域清掃：地域の美化に貢献するため、学区内の清掃を行った。
- ⑥ 施設訪問：地域の社会福祉施設で、利用者の手伝いをした。

話し合いの様子

Aさん「さまざまな意見を出してもらい、ありがとございました。ここからは、けやき中学校の魅力を小学生にわかりやすく伝えるために、この①～⑥を整理していきたいです。」

Bさん「①～⑥は、大きく三つの観点で分類できるのではないのでしょうか。」

Cさん「具体的にはどのような観点があるのでしょうか。」

Bさん「①と②の活動には、『学校行事』という共通点があります。また、説明にある一致団結や協力といった言葉から、『協力し合う学校行事』という観点で整理できると思います。」

Dさん「そうですね。同じように考えれば、③と④は『委員会活動』という共通点で整理できます。」

Cさん 「③の全校での花の植え替えや、④の本の紹介ゲームなどは、他の中学校ではあまりないかもしれません。だから、『生徒が工夫する委員会活動』という観点にすると、より魅力が伝わりやすいのではないのでしょうか。」

Dさん 「⑤や⑥の活動はどうでしょうか。」

Bさん 「⑤と⑥で共通する点をまとめると、『Ⅱ』という観点に整理できると思います。」

Aさん 「いい観点だと思います。それでは、この話し合いの内容を【図】でまとめてみましょう。」
 ～話し合いが続く～

(1) 話し合いの様子 中のAさんの発言にはどのような特徴がありますか。最も適切なものを、

次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

ア 計画的に話し合いを行うために、方向性に関する提案を行っている。

イ 意見の内容を確認するために、出された案を繰り返し述べている。

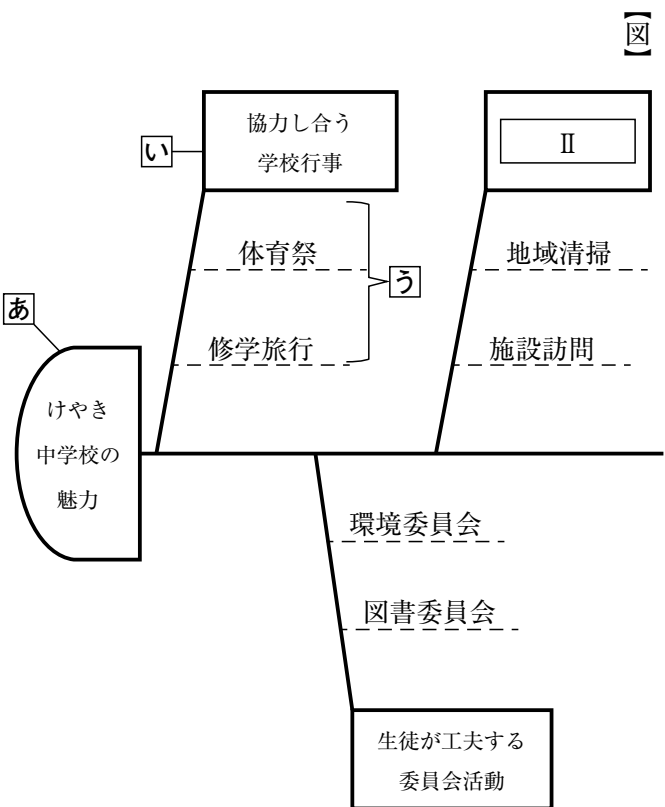
ウ 全員の発言を引き出すために、常に問いかける様子で話している。

エ 話し合いの軌道修正をするために、強い口調で訂正しようとしている。

(2) 話し合いの様子 中の空欄 Ⅱ にはあてはまる内容を書きなさい。(3点)

(3) 次の【図】は、話し合いの様子 をまとめたものです。【図】中の【あ】～【う】の項目について説明した文として最も適切なものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

(3点)



- ア 【あ】のデータに対して、【い】は目的を、【う】は観点を示している。
- イ 【あ】の目的に対して、【い】はツールを、【う】はテーマを示している。
- ウ 【あ】の活動に対して、【い】はデータを、【う】は目的を示している。
- エ 【あ】のテーマに対して、【い】は観点を、【う】は活動を示している。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

掲載許諾申請中

(中畑正志著『アリストテレスの哲学』による。一部省略がある。)

掲載許諾申請中

問4 ④ 人びとが目指すべき「善き人」は、思考にかかわる徳と人柄にかかわる徳の二つが共同することではじめて実現する。とありますが、「人柄にかかわる徳」と「思考にかかわる徳」の関係について説明した文として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア 人柄にかかわる徳によって、危険を顧みずに無謀に行動したいという欲求を感じ、思考にかかわる徳によって、その行動選択に苦痛を感じないように欲求を抑制するという関係。
- イ 人柄にかかわる徳によって、徳ある人にふさわしい行為をしたいという欲求を感じ、思考にかかわる徳によって、その欲求を実現するための適切な行為が選択されるという関係。
- ウ 人柄にかかわる徳は、自らの欲望に従って行為をするように促し、思考にかかわる徳は、行為選択にかかわる知としてその行為を正当化するための方法を検討させるという関係。
- エ 人柄にかかわる徳は、習慣づけられ陶冶された欲求の方向性にもとづいて適切な行為を選択し、思考にかかわる徳は、その行為を実行する際に抑制すべき欲求を示すという関係。

問5 ⑤ たとえその場かぎりのおこないでも、それが行為であるかぎり、選択の理由があり、説明が可能なのだ。とありますが、筆者は、思慮ある行為者はどのように行為を選択していると考えていますか。空欄にあてはまる内容を、**全体**、**意識**の二つの言葉を使って、四十字以上、五十字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。(7点)

思慮ある行為者は、 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div>	ことによって、 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div>
---	---

「自然と」行為を選択している。

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(……の左側は口語訳です。)(12点)

或人、花実の事を歌にたて申して侍るにとりて、「古の歌は皆実を存して花を忘れ、花と実との関係を和歌にあてはめました時に

近代の歌は花をのみ心にかけて実には目もかけぬから。」と申しためり。尤もさとおほえ侍る上、なるほどそのとおりだと

※古今序にもその意侍るやらむ。さるにつきて、なほこの下の了簡、愚推をわづかにめぐらしみ
それについて 以下に述べる考えの中に、自分なりの推測を

侍れば、心得べき事侍るにや。いはゆる実と申すは心、花と申すは詞なり。必ず古の詞

強く聞ゆるを実と申すとは定め難かるべし。古人の詠作にも、心なからむ歌をば I とぞ申す
昔の人の歌 ないような

べき。今の人によめらむにも、うるはしく正しからむをば実有る歌とぞ申し侍るべく候。さて、
表現が整って、いきんとしているような歌

「心をさきにせよ。」と教ふれば、「詞を次にせよ。」と申すに似たり。「詞をこそ詮とすべけれ。」と
① いはば、また「心はなくとも。」といふにて侍り。所詮心と詞とを兼ねたらむをよき歌と
兼ねたような歌

申すべし。心・詞の二つは鳥の左右のつばさの如くなるべきにこそぞ思ふ給へ侍りける。ただし、
② 心・詞の二つを共に兼ねたらむはいふに及ばず、心の欠けたらむよりは詞のつたなきにこそ侍らめ。

(『毎月抄』による。)

(注) ※古今序……『古今和歌集』の序文。

※詮……大事なところ。

問1 空欄 I にあてはまる語句として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

- ア 意無き詞いむぎことば イ 実無き歌 ウ 花無き詞 エ 詞無き歌

問2 いふにて侍りはべ とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、すべてひらがなで書きなさい。(3点)

問3 鳥の左右のつばさつばさの如く とありますが、これはどのようなことをたとえたものですか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

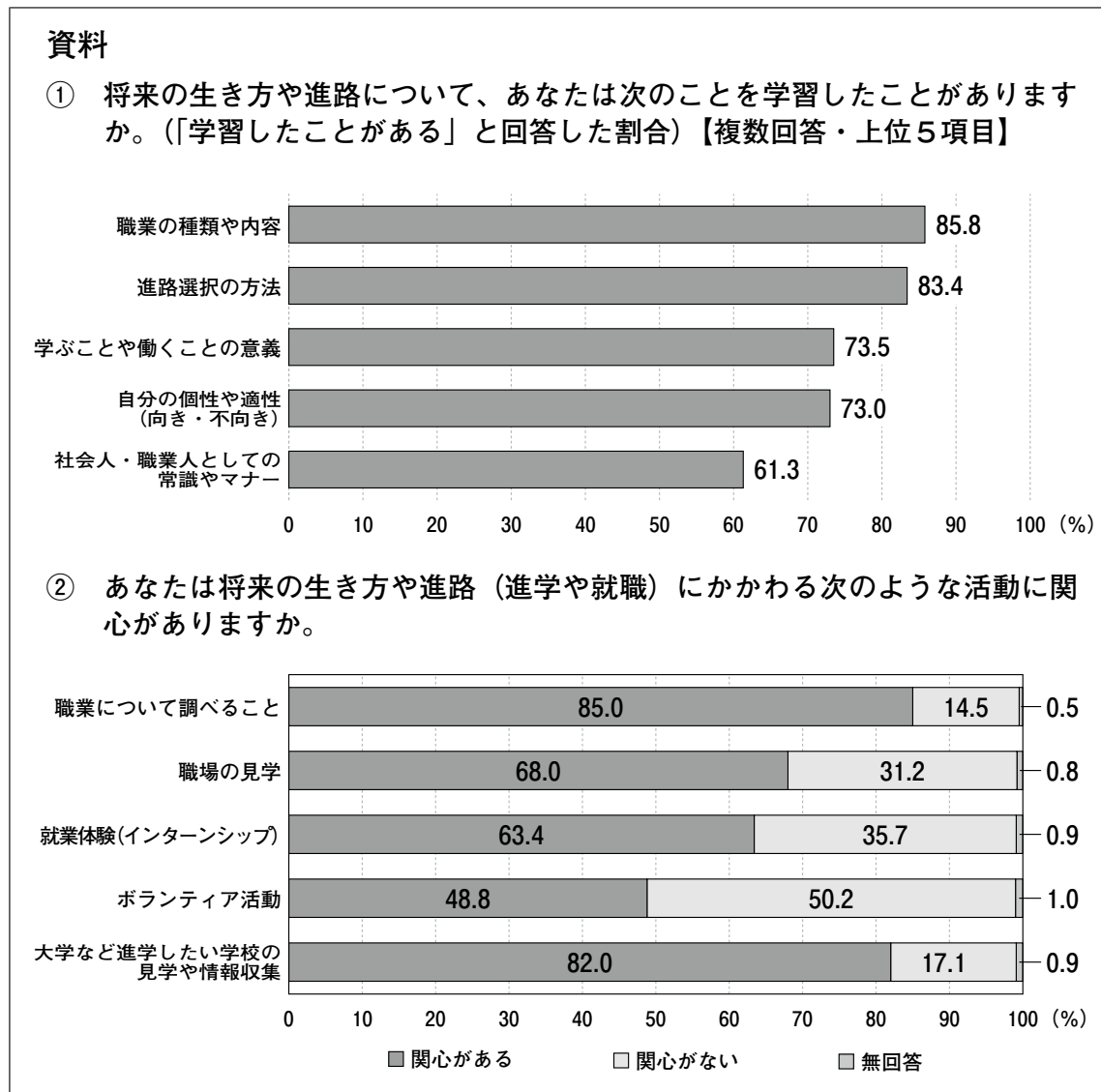
- ア 片方の働きが、もう一方の働きを支えているということ。
イ 物事の本質ではない、ささいな部分であるということ。
ウ どちらも重要であり、あわせ持つべきものということ。
エ 対極に存在するものであり、両立しえないということ。

問4 次は、この文章を読んだあとの先生とAさんの会話です。空欄 II にあてはまる内容を本文中から二十五字以内で探し、そのはじめの五字を書き抜きなさい。(3点)

Aさん 「この文章の後半は、和歌における『心』と『詞』の関係について述べています。」
先生 「そうですね。歌の中には、『心』は不十分だが『詞』が優れているものもありますし、『詞』は不十分だが『心』が優れているものもあります。作者は文章の中で、この両者であればどちらがよいと述べていますか。」
Aさん 「文章の中では『 II 』と述べています。」
先生 「そのとおりです。このように『心』と『詞』に差をつけている点も、作者のものの見方や考え方といえますね。」

5 次の資料は、日本の高校生を対象に、「進路と職業意識」について調査した結果をまとめたものです。

国語の授業で、この資料から読み取ったことをもとに「将来の生き方や進路を考えたときに大切にしたいこと」について、一人一人が自分の考えを文章にまとめることにしました。あとの(注意)に従って、あなたの考えを書きなさい。(12点)



国立青少年教育振興機構「高校生の進路と職業意識に関する調査」(令和4年度)から作成

(注意)

- (1) 二段落構成とし、第一段落では、あなたが資料から読み取った内容を、第二段落では、第一段落の内容に関連させて、自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえてあなたの考えを書くこと。
- (2) 文章は、十一行以上、十三行以内で書くこと。
- (3) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。
- (4) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

(以上で問題は終わりです。)

